

唯
神道行莫太秘



一 准
 朱雀 玄武
 神 籙 行 事 被
 青 龍 白 虎

一

伊豆井城書

唯一神道

七福神之像

神あまのくろまきのところ

柴田出羽奥宣 應需

猿田彦大神者号道祖神
及縁結神一云庚申也

伊勢國鈴鹿郡
椿神社



市杵嶋姫命塩噌造家祖神

稻倉魂命五穀
及蚕神云農家祖神
山城國紀伊郡
稻荷大明神



亦云貞女神安藝國
佐伯郡嚴嵩大明神

少彦名命咒術医家祖神也
紀伊國名草郡
粟嵩大明神



大己貴命福神賣買神又云
漆物屋祖神一号大國大和国城上郡



三輪大明神

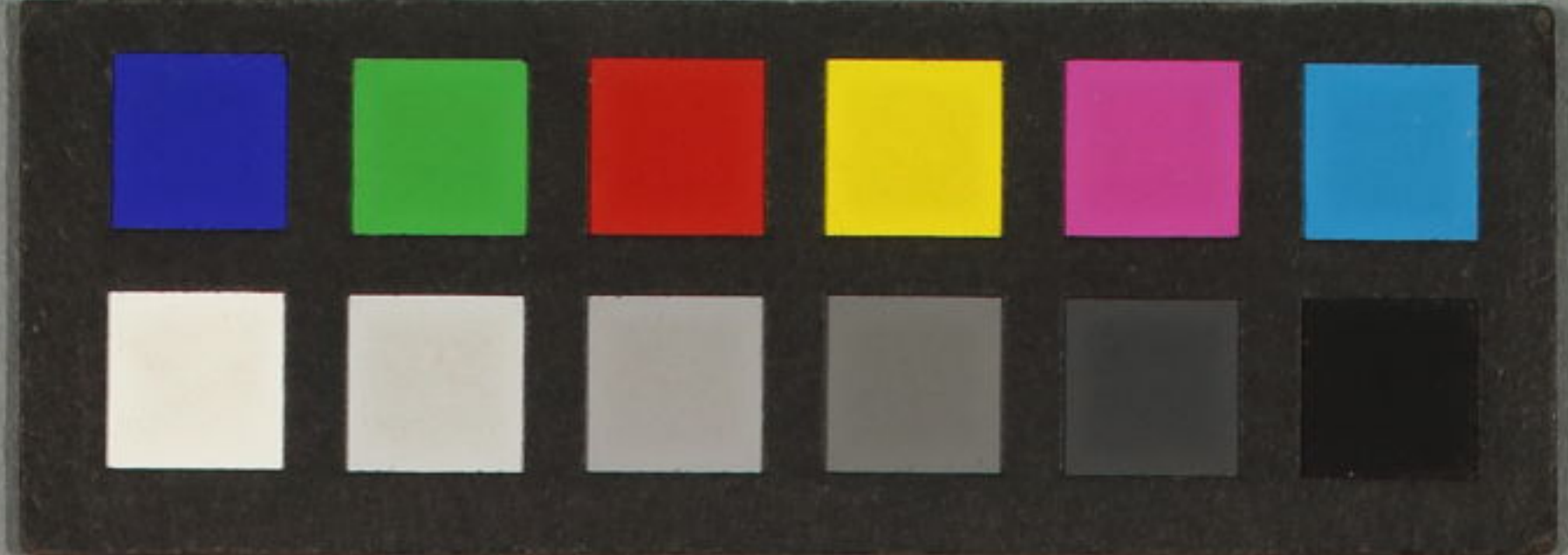
天兒屋根命爲君祈吉福神
又社家祖神大和國添上郡
春日大明神



事代主命
商家祖神又釣魚
獵師祖神也稱擊
長津國天部郡長田神社

神道太極大意

- ① 神拜次第 しんはいしだい
- ② 奉幣次第 ちやうへいのしだい
- ③ 鳥居拜 とりかのまひ
- ④ 神供祝祠 しんぐのつとく 物とそかへ
- ⑤ 神酒祝祠 しんさけのつとく 酒とそかへ
- ⑥ 神道故實及幣切形 しんどうのこじつおとびのきりかたち
- ⑦ 俗士神拜次第 ぞくしんはいしだい
- ⑧ 中臣枝 ちゆうしんえ
- ⑨ 六根清淨太極 ろくこんじやうじやうのちやう
- ⑩ 二科枝 にしかえ



准
朱雀
玄武
一
神
行
事
被
青龍
白虎

神ありてりまのり

柴田出羽典宣 應需

伊豆井城書

唯一神道

七福神之像

依田茂大神者号道祖神
及縁結神一云庚申也
伊勢國鈴鹿郡
椿神社

市杵嶋姬命塩噌造家祖神
亦云貞女神安藝國
佐伯郡嚴嵩大明神

稻倉魂命五穀
及蚕神云農家祖神
山城國紀伊郡
稻荷大明神

少彦名命呪術医家祖神也
紀伊國名草郡
粟嵩大明神

大己貴命福神賣買神又云
瀬物屋祖神一号大國大和国城上郡

三輪大明神

天兒屋根命爲君祈吉福神
又社家祖神大和国添上郡
春日大明神



事代主命
商家祖神又釣魚
獵師祖神也一称擊
長津國大郡長田神社



あく非抱まる。のそらひびり **(十一) 最要枝** 中臣の要 **(十二) 最上枝** **(十三) 身**

そぎのおわそ **(十四) 曾貴太枝** 身と瀧 **(十五) 一切成就枝** 一切法 **(十六) 十種神寶** **(十七) 大道神祇** 相の本六十余國乃神 **(十八) 日本二十二社神號**

本國中一之宮神名記 **(十九) 御祭日** **(二十) 十種枝** 贏都鏡 刃都鏡 八握 釵 生王 死反玉 足玉 道反玉 蛇比禮 蜂比禮 品々物

(二十一) 竈祭三柱枝 火の神 **(二十二) 天津祖猿** 火の神 **(二十三) 田彦太神枝** 庚申様 **(二十四) 道祖猿** 庚申様 **(二十五) 地津主大己貴神枝** 甲子祝文と云 **(二十六) 甲子祝文** 己待 **(二十七) 人津靈少彦名神枝** 己待

(二十八) 德 此礼等神寶 **(二十九) 飯成五社大明神枝** 飯成五社大明神 **(三十) 天津祖猿** 天津祖猿

(三十一) 田彦太神枝 庚申様 **(三十二) 道祖猿** 庚申様 **(三十三) 地津主大己貴神枝** 甲子祝文と云 **(三十四) 甲子祝文** 己待 **(三十五) 人津靈少彦名神枝** 己待

(三十六) 德 此礼等神寶 **(三十七) 飯成五社大明神枝** 飯成五社大明神 **(三十八) 天津祖猿** 天津祖猿

(三十九) 田彦太神枝 庚申様 **(四十) 道祖猿** 庚申様 **(四十一) 地津主大己貴神枝** 甲子祝文と云 **(四十二) 甲子祝文** 己待 **(四十三) 人津靈少彦名神枝** 己待

(四十四) 德 此礼等神寶 **(四十五) 飯成五社大明神枝** 飯成五社大明神 **(四十六) 天津祖猿** 天津祖猿

(四十七) 田彦太神枝 庚申様 **(四十八) 道祖猿** 庚申様 **(四十九) 地津主大己貴神枝** 甲子祝文と云 **(五十) 甲子祝文** 己待 **(五十一) 人津靈少彦名神枝** 己待

(五十二) 德 此礼等神寶 **(五十三) 飯成五社大明神枝** 飯成五社大明神 **(五十四) 天津祖猿** 天津祖猿

(五十五) 田彦太神枝 庚申様 **(五十六) 道祖猿** 庚申様 **(五十七) 地津主大己貴神枝** 甲子祝文と云 **(五十八) 甲子祝文** 己待 **(五十九) 人津靈少彦名神枝** 己待

(六十) 德 此礼等神寶 **(六十一) 飯成五社大明神枝** 飯成五社大明神 **(六十二) 天津祖猿** 天津祖猿

(六十三) 田彦太神枝 庚申様 **(六十四) 道祖猿** 庚申様 **(六十五) 地津主大己貴神枝** 甲子祝文と云 **(六十六) 甲子祝文** 己待 **(六十七) 人津靈少彦名神枝** 己待

(六十八) 德 此礼等神寶 **(六十九) 飯成五社大明神枝** 飯成五社大明神 **(七十) 天津祖猿** 天津祖猿

杖つゑ 己待こまち乃杖のつゑ 厄神杖やくしんのつゑ 祖廟靈鎮杖そづうまのつゑ 遥拜祝祠はるかひのつゑ 潔齋祝祠けつさいのつゑ 鎮火ひろうめ

① 神拜次第

先沓揖まづくつのゆ 沓くつと正ただ一揖いちゆ 沓くつと脱はき沓くつを脱はきての公こう座ざを思おもふ

次著座ちやくざ

次座揖つぎのゆ 正ただ一揖いちゆ 右みぎの例たとへは持もちつゝ

次拍手ニツ

次再拜 笏と正し居るがらさの事 再拜也矣

次枝 中臣枝三種枝大枝等

次祈念 祈念ハ意ト作ト

次拍手ニツ

次再拜 初のおと

次座揖 笏と正し居るがらさの事

次起座

次沓揖くつのおひ 沓と著笏と正くつと著笏と正
一揖いちおひ

退出ちゆうだう

②奉幣次第かうへいのしだい

先著座如常ちゆうざざのふつじ

次從者執幣進祭主さいしゆしやくへいしんさいしゆ
是と進むけしきと風

次祭主執幣さいしゆしやくへい 右の手みぎのて 是と執幣これとしやくへい の首くび 右みぎ の方かた 一いち 奠けん

次再拜さいさい 幣へい とと 振ふる りり 右みぎ 左ひだり 右みぎ 左ひだり 一いち 拜さい 又また 三さん 拜さい

次小揖せうおひ 幣へい と持居もぢゑ ちち 居ゑ ちち 揖おひ

次再拜さいさい 初はつめのごとし

次幣使進受幣獻へいし 神かみ殿どの

次幣使向祭主小揖申返祝拍手へいし 祭まつり主ぬし應こたへ之の拍う手て

祭主應之拍手まつりぬしこたへこのうて

次起座常さいのごとし

右以桃花藻葉書之別有口傳みぎにとうはなももはなをかくしべつふくぐんあり

③鳥居之拜とりゐののり 名な格がく向むかひひ一いち揖いっ申まを返かへては是こゝとこゝ唱なます

神乃在坐鳥居仁伊禮波此身與かみのますすとりゐのいれなみよ

利り日ひ月つき乃の宮みや止と安やす良ら計け久く住まむ

祝のりと祠と通と用う玉たま體たい安あん全ぜん天てん壤えん無ぶ窮きゆう神しん

垂たまひ祈こころ禱とら冥みやう加か正ちやう直じき

④ 神しん供く祝のりと祠と拍う手てとを打う是こゝとを唱となへて通と用う

廣ひろ前まへ仁に秋あき乃の垂た穎ひ乃の八や握つ穗か乎と持もち

清きよ麻あ波な御ご炊い幾いく底そ備そ留と御ご食け波な拍う

葉は仁に高たか仁に良ら加か拍う八はち平ひら手て乃の音ね平へい良ら

氣け久く安やす良ら氣け神しん波な聞き麻あ世せ宇う豆まめ乃の

大御膳 おんけ

⑤ 神酒祝祠 みきのりと

荒稻 あらしん 乎 と 持清 もちら 麻波 あまなみ 和稻 わにしん 乎 と 持齊 もちら 波 なみ

利底 りて 造留 つくろ 御酒 みき 宇迹 うあと 乃 の 平賀 ひらか 仁八 にや

盛底 りて 曾天 そあめ 乃榮 のささ 弥國 やくに 乃昌 のささ 也 や 稱辭 なづか

竟奉 とえま 留大御酒 ろおんけ

⑥ 神家故實及幣切形 しんかのこじつおとぎへいのまじりかたち

大祀 おん 中祀 ちゆう 小祀 せう と六月の 一月の 八月の 三日の 一日のもの

神家忌詞内七言外七言

佛かどけと中子あうご 經きやうと紙し 塔たうと阿良良支あらいらぎ 寺てらと瓦ゐら

僧そうと髮長かみなが 尼あまと女髮長めづかみなが 齋さいと斤膳しんぜん 以上内七言

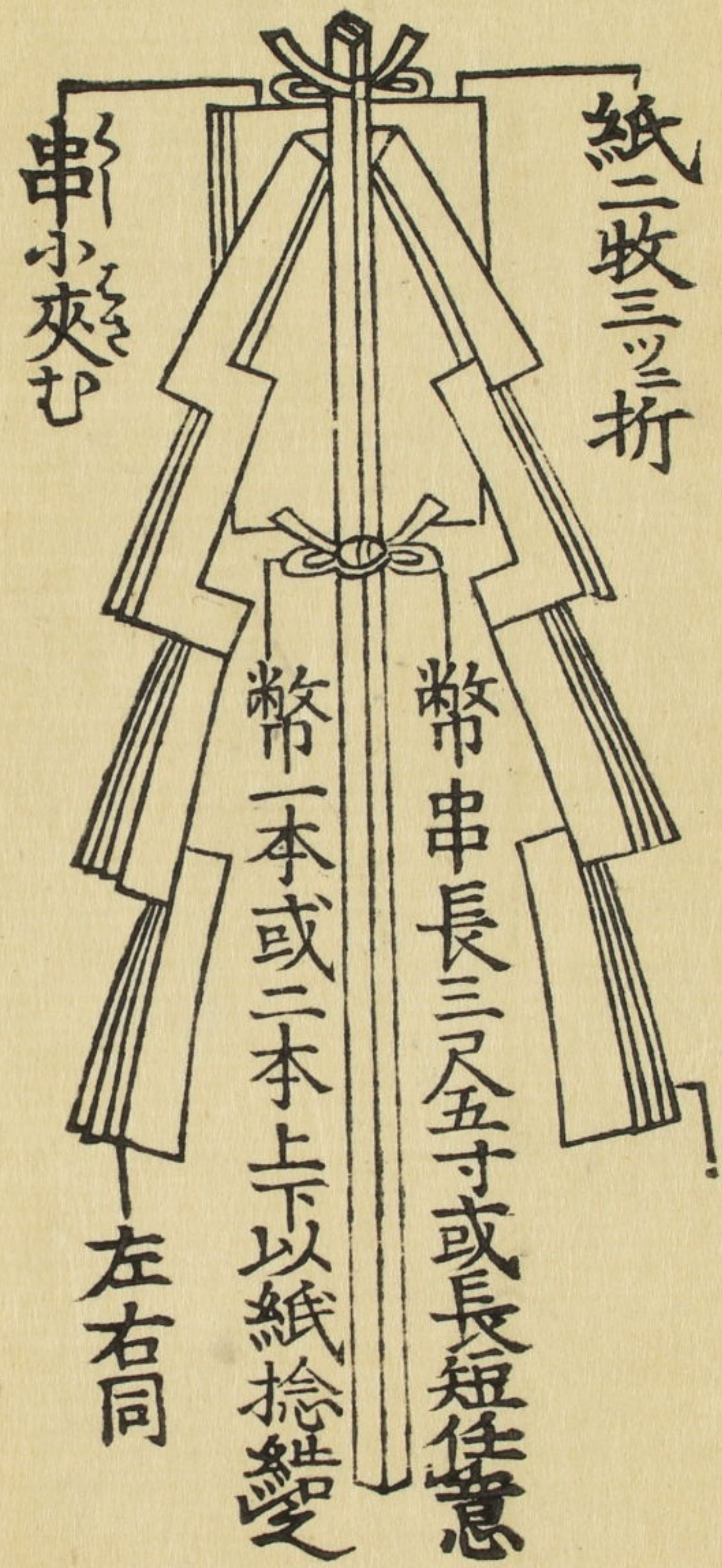
死しと奈保留なほりう 病びやうと夜須美やそみ 哭なくと塩垂しおたれ 血ちと阿世あせ

打うちと撫なでと穴あなと園うゑと墓かぶつと穰むらと 以上外七言

堂だうと香燃かうも 優波女塞うはにそと角筈つのぼら

幣之圖

紙し二枚ふたまいニツに折ひ三刀さんば四垂よたれニ裁き



稜麻之圖

一座被紙一牧三垂十座稜紙十二牧三垂



通用紙八牧四垂串長一尺二寸或八寸

⑤ 俗士神拜次第

先神前 仁向比 一揖

次再拜 二度おむすなり

次拍手ニツ

次三種枝 何遍ともころふはま

瓊帚鏡笑賜枝賜清賜

次祈念

掛毛 畏幾 大御神 乃珍 乃大廣

前まへ 尔み 恐おそ 美れ 畏う 美そ 申り 天あま 下した 泰たい 平へい 五ご

穀成就こくじょうじゆ

今上いまのうへ 皇帝てんてい 御宝ごたから 祚そ 萬まん 歲ざい

征夷大將軍せいゐだいたいせん 御武運ごぶくうん 長久ちやうきう

國主くにぬし 地頭ぢちゆう 御弓矢ごきうや 安全あんぜん 全家かか 内安ないあん

穩家業うんけあふ 繁榮はんえい 常磐じやうばん 尔み 堅磐けんばん 尔み 夜よ

乃の 守日まもりひ 乃の 護衛まもり 幸給さいたまへ 辺止あたひ 恐おそ 礼美れいみ

畏美申壽うそそめいしんじゆ 其その 余意よこころ 又また 任まか せ

次拍手ニツ

次再拜 初のぞく

次一揖 初のぞく

退下

中臣 稜

高天原仁神 雷座 須 皇親神 漏岐

神漏美乃命 以底 八百万神等 乎

神集集賜比 神議議賜 氏 吾皇御

孫命波豊葦原乃水穗乃國乎安

國登平介久所知食登事依之奉

幾如此依之奉志

國中仁荒振神達乎神問之仁問

志賜比神掃仁掃賜比天語問之

磐根樹立草乃垣葉乎毛語止天

天乃磐座放天八重雲乎伊豆乃

千別仁千別天天降之依之奉幾

如此依之奉志

四方乃國中仁大倭日高見乃國

平安國登定奉互下津磐根仁宮

柱太敷立高天原仁千木高知互

皇御孫命乃美頭乃御舍仕奉天

天乃御蔭日乃御蔭登隱座天安

國登平介久所知食

國中仁成出牟天乃益人等加過

犯氣牟雜々乃罪事波

天津罪登畔放溝埋樋放敷蔣串

刺生剥逆剥許々太久乃罪乎天

津罪登法别天

國津罪止波生膚斷死膚斷白人

胡久美已母犯罪已子犯罪母與

子犯罪子與母犯罪畜犯罪昆虫

乃災高津神乃災高津鳥乃災畜

志ち 蟲物むしもの 爲な 罪許つみゆる 々々 太た 久く 乃の 罪出つみい

如ごと 此出波このいで 天津宮事あまのつみやまこと 以も 天あま 天津あまのつ

金木きんぼく 乎と 本打切末打斷もとうちきりすえちぎ 互たがひ 千座ちくら 乃の

置座おきざ 仁に 置足おきあし 波之なみの 互たがひ 天津あまのつ 菅曾すがそ 乎と

本もと 茹斷じゆだん 末茹切すえじゆきり 互たがひ 八針やちん 仁に 取辟とるひらき 互たがひ

天津祝詞あまのつのりと 乃の 太祝詞事あまのつとこと 乎と 宣のたま 礼れい 如ごと

此宣このたま 羅波らわ 天津神者あまのつかみ 天磐戸あまのいわと 乎と 押おし

開ひら 幾き 天八重雲あめやむぐも 乎と 伊豆いづ 乃の 千別ちま 仁に

千ち別べつ天てん所しよ聞もん食じき牟む國こく津つ神かみ波なみ高たか山やま

乃の末すえ短たん山さん乃の末すえ仁に登のぼ利り座ざ互たがひ高たか山やま

乃の伊い穗が理り短たん山さん乃の伊い穗が理り乎と撥く別べつ

互たがひ所しよ聞もん食じき牟む如ごと此こ所しよ聞もん食じき天てん波なみ罪つみ

止とど云い罪つみ咎とが止とど云い咎とが波なみ不あ在ら止とど科か戸と

乃の風かぜ乃の天あめ乃の八や重へ雲くも乎と吹ふ放はな事まつ乃の

如ごと久く朝あさ乃の御み霧きり夕ゆふ乃の御み霧きり乎と朝あさ風かぜ

夕ゆふ風かぜ乃の吹ふ掃はら事まつ乃の如ごと久く大おほ津つ邊べ仁に

居大船乃舳網解放艦網解放互
大原仁に押放津事乃如久彼方
乃繁木加本乎燒鎌乃敏鎌以互
打掃事乃如久遺礼雷罪波不在

止後賜比清賜事乎高山乃末短
山乃末与利佐久那太理仁落瀧
津速川乃瀬仁座須瀬織津比咩
止云神大海原仁持出奈牟如此

持出もちだす往波やま荒鹽あはらし乃鹽のし乃鹽のし乃八百のや道ち乃
 八鹽や道ち乃鹽のし濃の八や百會やあひ仁座にま須速す
 開都あきつ比咩ひめ登云とみ神持かみ可々り吞天のて座ん
 如此う可々ら吞の互波て氣吹いぶ戸ど仁座にま須す
 氣吹いぶ戸主どぬし登云とみ神根かみ國底のくに乃國のくに尔に
 氣吹いぶ放はな互車てん
 如此う氣吹いぶ放はな互波て根國底ねのくに國仁座のくににま
 須速す佐須良比咩さすらひめ登云とみ神持かみ佐須さす須速す

良比失 互牟

如此失 互波遺 礼雷罪止 云罪咎

止云咎波不在止 稜賜比清賜事

乎稜所乃八百万乃神達平介久

安介久聞食登申壽

六根清淨太稜

天照皇太神乃宣久人波則天下

乃神物奈利須掌靜謐心波則神

明乃本主他利莫令傷心神是故
仁目仁諸乃不淨乎見互心仁諸
乃不淨乎不見耳仁諸乃不淨乎
聞天心仁諸乃不淨乎不聞鼻仁
諸乃不淨乎嗅互心仁諸乃不淨
乎不嗅口仁諸乃不淨乎言互心
仁諸乃不淨乎不言身仁諸乃不
淨乎觸互心仁諸乃不淨乎不觸

意仁諸乃不淨乎思互心仁諸乃

不淨乎不想此時仁清潔与幾偈

阿利

諸乃法波影止像止乃如之清久

淨礼波假仁毛穢古止無之說乎

取波不可得皆花与里曾木實止

者生留我身波則六根清淨奈利

六根清淨奈雷我故仁五臟乃神

君こ安寧やすむ奈利なり五臟いつくわ乃の神かみ君安寧こやすむ奈利なり

雷かみ我が故ゆゑ仁に天地あめつち乃の神かみ止とど同根おなじ奈利なり

天地あめつち乃の神かみ止とど同根おなじ奈雷なにかみ我が故ゆゑ仁に万よろ

物もの乃の霧きり止とど同躰おなじ奈利なり万物よろもの乃の霧きり止とど

同躰おなじ奈雷なにかみ我が故ゆゑ仁に所あま為ま無願なげ而不な

成就とつじゆ矣や

无な上かみ霧きり寶たから

神道かみち加持かぢ

⑩ 三科さんか枝え橘家相傳たちばなけあひでん

高た天ま原の仁ら住ら雷よ麻あ呂る都ま波ろ由と良く由は
良ら登と後ら比ひ由ひ禮も由も禮れ登と後ら布ふ比ひ禮も
比ひ禮も登と清き咩よ比ひ良ら比ひ良ら登と清き咩よ底て
可ら可ら牟む濃の牟む天て牟む登と我わ宮みや社しゃ仁に出で

持も底ち三さん科か乃の三さん谷こ仁に分ぶん底ち其その入い道どう
濃の乘り尔に吹ふ截せ底ち造つく雷ら嵐あ颯さ仁に落お雷ら
瀧た仁に風かぜ波なみ布ふ浪なみ波なみ鳴な音ね乎や竿さ牡ま鹿か
濃の八や乃の耳み乎や振ふ立た底ち聞き食く我わ波なみ駒こま

乎ひ曳立底行登申壽ひきだしてめくしきまふす

① 最要枝さいやうのもちひ

高天原仁神たうまのちみくに雷座須皇親神かみでまらひつみろを漏岐ろぎ神漏美乃命以天天津祝詞乃太かみろみのみことめちてあまつつらとくのふと

祝詞事乎宣礼如此宣羅波罪止のむこととをのまじらうくのまきばつと

云罪咎止云咎波不在物乎止いひつみとがとをいみとがあつとめとととちふ

賜比清賜登申事乃由乎諸神等たまひにきよたまふことまふまふのよりとちみろくちみとち

左男鹿乃八乃耳乎振立天聞食さとしろうのやののそとちうりてきこひめ

とまふと
登申壽

さいしじゆうのちひ

⑤ 最上稜

たうまのつうあまつのつと
高天原天津祝詞乃太祝詞持可
うんのでんそひたまひるよめたま
可牟吞天牟稜賜比清賜

⑤ 身曾貴太稜

たうまのつうあまのつと
高天原仁神雷座須皇親神漏岐
うむろそめそとちちてひうがつたちをまのあまが
神漏美乃命以天日向橘乃檉原
のこのそら乃のうくあハのそとおよびそやまめ
乃九柱乃神粟門及速吸名門乃

六柱乃神達諸乃汚穢乎殺賜清
賜陪止申壽事乃由乎左男鹿乃
八乃耳乎振立天聞食止申壽

一切成就後

極豆汚毛滯無礼波穢者有羅之
内外乃玉垣清淨登申壽

十種神寶

瀛都鏡。邊都鏡。八握劔。生玉

死反玉。足玉。道反玉。蛇比禮

蜂比禮。品々比禮 以上

⊕ 大道神祇

謹請再拜再拜掛間久毛畏喜大

日本豊葦原水穗乃國六十余州

尔跡乎垂鎮里坐須大小乃神祇

神世五代乃尊神天孫降臨供奉

三十二神式内式外案上案下三

千せん一いつ百ひゃく三さん十じゅう二に神しん殊とく尔み波は宮みや中ちゆう尔み

奉ほう祭さい鎮ちん靈れい八はち神しん乎こ始し守しゆ護ご鎮ちん利り座ざ

須す靈れい神しん浴よく中ちゆう洛らく外がい山さん上じやう山さん下げ伊い勢せ

内ない外がい兩りやう宮みや攝せつ社しゃ末まつ社しゃ別べつ天てん波は當たう國こく

氏うぢ乃の神しん當たう所しよ產ぶ神しん乃の冥めい道だう靈れい場じやう乎こ

奉ほう動どう請しん招しやう志し祓はら申しん清しん申しん事じ乃の形けい狀じやう

波は精しん進しん乃の誠まこと乎こ致し止とど雖いふ毛も緣えん尔み觸ふ

不な慮り尔み穢けが氣ま不な淨きよ行ぎやう觸ふ來き觸ふ目め借か

口借愚意尔志天犯須良武所乃
不信懈怠不淨等乃咎崇有天唯
今祈禱奉雷所乃妨止成可良武
乎波稜申清奉靈現尔依天諸乃

不善不吉罪事乎波他方万里乃
外辺荒鹽乃鹽乃八百道乃八鹽
道乃大海原尔稜比退此座
請招志奉雷八百萬乃諸乃神筆

天乃磐戸乎押開伎天乃八重雲

乎伊豆乃千别尔千别天高山乃

末短山乃末尔登座天高山乃伊

總理短山乃伊總理乎撥别天所

聞食止称辞竟奉雷辞别尔申佐

久古八洲開闢乃始國土乃浮礼

漂布事譬波猶水乃上尔浮女雷

油乃如于時天地乃中尔一乃物

生礼利則神止成雷國常立尊止

申奉次尔國狹槌尊次尔豐斟滄

尊次尔泥者尊沙土者煮尊次尔十

戸道尊大管邊尊次尔面足尊

根尊次尔伊莽諾尊伊莽冉尊是

乎神代乃七代止申奉雷次尔神

在天照皇大神次尔正哉吾勝々

速日天忍穗耳尊次尔天津彦彦

る 止り すみりちりもと なる くる ところの ことと

まじし ことまじり ぎみ くる さ つちの こと つぎ ふ しよ えぬ の

ことと つぎ ふ ひちふの こと すい ちふの ことと つぎ ふ

との ちの ことと やや とまへの ことと つぎ ふ おも ころの ことと

ことと つぎ ふ い ざ る げの ことと い ざ る こと の ことと

と うむ よの ちよ よとく まじし ことと つぎ ふ

まじし あまてし ことと まめ おろ ことと つぎ ふ まじし う あ ころく

ちや ひ あまの や や ことと ことと つぎ ふ あまら ひこ ひこ

火瓊々杵尊次尔ひこほや疾火々出見尊ひこほや
次尔つぎ疾波湫武ひこほや鷓鴣艸うやふ菅不合尊あへずのまこと
次尔つぎ神日本磐余かみ疾尊ひこのまこと從是八百これよりやち
乃太神よちの現在須おわんくま故國乎あまのくに神國止かみくにと

云道乎いふまじ神道止かみちと云布いふ天照皇太神あまてらすみかみ
次第乃の神月かみつき讀尊よみ蛭子尊ひるこ素戔嗚すさな
尊止かみと申奉まをさ其外そのほか五行ごごう御神みかみ五鎮神ごちんかみ
八百やちひゃく乃の神中かみな尔毛おのり主宰しゅさう天守あまのりき給たまは

布神御光天尔座须霄乃明星波

磐裂神夜中乃明星波经津主神

晓乃明生波根裂神雨乃神雷乃

神晴天十二时尔光座须神奈利

天地尔所在万民乎湿玉布御神

木乃神波句々迺驰命火乃神波

軻遇突智命土乃神波埴山姬命

金乃神波金山彦命水乃神波水

速女命草乃神波草野姫命又波

野槌尊大海原乎主宰給波少童

命瀬織津姫速次津比咩神五穀

神波保食神稻蒼魂命衣服乎織

始給布波拷幡千々姫命家乎作

始給布波手置帆負命疾狹智命

風乃神波級長戸邊命級長津彦

命山乃神波大山祇命往來於守

給布波岐乃神船乎守玉布波舟

玉乃神壽福乎守給布波太田神

門乎守給布波豊磐間戸命櫛磐

間戸命罪崇乎祈袂給布波神直

日神大直日神病乎療志給布波

大已貴命少彦名命武勇乎守給

布波經津主命武甕槌命智惠乎

守給布波思兼命器物乎作始給

布波石疑姥命如此諸乃神等方

物乎主宰玉比互蒼人民乎養育

志給布止恐美恐美申須神代遺

礼雷風儀妙尔志互舊義理乎云

山城國 愛宕郡 加茂大明神 上下別雷命

内幾五 大和國 城上郡 三輪大明神 大己貴命

河内國 河内郡 牧岡大明神 四天兒屋根命葺不合命

和泉國 大鳥郡 大鳥大明神 日本武命

坐大國主命天照太神
やましくどけ

攝津國

住吉郡

住吉大明神

三筒男命

伊賀國

阿部郡

敢國大明神

金山彦命

伊勢國

河田郡

都婆岐大明神

猿田彦命

志摩國

荅志郡

伊射波大明神

玉柱屋命

尾張國

中島郡

真清田大明神

大物主命

三河國

宝飯郡

砥鹿大明神

八千戈命

遠江國

佐野郡

事麻契明神

大己貴命

駿河國

富士郡

淺間之神社

木花開那姬命

東海道

伊豆國

加茂郡

三島大明神

大山祇命

甲斐國

八代郡

淺間大明神

葦津姫命

相模國

高倉郡

寒川大明神

應神天皇

武藏國

足立郡

氷川大明神

素盞男命

安房國

安房郡

安房大明神

天太玉命

上総國

埴土郡

玉前大明神

前玉命

下総國

香取郡

香取大明神

經津主命

常陸國

鹿島郡

鹿島大明神

武甕槌命

東近江國 栗本郡 健部大明神 稚武王命

山美濃國 不破郡 南宮之神社 金山彦命

飛驒國 大野郡 水無瀬神社 高照光姫命

信濃國 諏訪郡 諏訪大明神 建御名方命

上野國 甘樂郡 貫前大明神 経津主命

下野國 河内郡 二荒山神社 豊城入彦命

陸奥國 白河郡 都吉和氣神社 味瑠高彦根命

出羽國 飽海郡 大物忌神社 稻倉鬼命

若狭國

遠敷郡

遠敷大明神

彦炎出見命

越前國

敦賀郡

氣比大明神

仲哀天皇

越中國

砺波郡

高瀬神社

大国主命

越後國

蒲原郡

伊夜彦神社

天香古山命

佐渡國

羽茂郡

渡津大明神

五十猛命

加賀國

石川郡

白山神社

伊弉册命

能登國

羽咋郡

氣多神社

大己貴命

丹波國

桑田郡

出雲大明神

三穗津姬命

山陰

道

丹後國 たんご

与謝郡 よさ

籠守大明神 こもり

底筒男命 そこづつと

但馬國 たじま

朝來郡 あさこ

粟鹿大明神 あしかの

彦火々出見命 ひこやぐさみの

因幡國 いんぱん

法美郡 あつみ

宇部大明神 うべ

武内宿称 たけのうちのすけり

伯耆國 おき

河村郡 かわむら

倭文大明神 しづなり

下照姫命 しほてるひめ

出雲國 いづも

出雲郡 いづも

杵築大明神 きづき

素盞盞男命 すさのとの

石見國 いそみ

安濃郡 あの

物部神社 ものべのじん

宇麻志麻知命 うましまち

隱岐國 いんぎ

知夫郡 ちぶ

由良姫神社 ゆらひめ

須世利姫命 すせりひめ

山播磨國 やまはりま

完栗郡 くわんり

伊和大明神 いご

大物主命 おほものぬし

美作國 みささき

苫東郡 とまひがし

中山大明神 あややま

顯國王命 あきこ

備前國 びぜん

赤坂郡 あかさか

石上布都いそのふつ 毘社 ひ

神社

備中國 びんご

加屋郡 かや

吉備大明神 きび

吉備津彦命 きびつひこ

備後國 びんご

深津郡 ふかつ

須佐男大明神 すさのお

八千戈命 やちのこ

安藝國 あき

佐伯郡 さいへ

嚴島大明神 いつくしま

市杵島命 いちきしま

周防國 すいほう

佐婆郡 ささ

玉祖大明神 たまのや

玉祖命 たまのや

長門國 ながと

豊浦郡 とよら

住吉大明神 すまき

表筒男命 うらつづみ

紀伊國 きい

名草郡 なぐさ

日前大明神 ひのくま

石凝姥命 いしころいば

淡路國

津名郡

御神社

伊弉諾命

阿波國

板野郡

大麻彦神社

猿田彦命

讃岐國

香川郡

田村大明神

興玉命

伊豫國

越智郡

三島大明神

大山祇命

土佐國

土佐郡

高賀茂大明神

味耜高彥根命

筑前國

那賀郡

箱崎神社

應神天皇

筑後國

三井郡

葭玉垂大明神

武内宿禰

豊前國

宇佐郡

宇佐八幡大神

應神天皇

豊後國

大野郡

西寒多神社

神功皇后

肥前國

佐嘉郡

川上大明神

淀姫命

肥後國

阿蘇郡

阿蘇大明神

健磐龍命

日向國

兒湯郡

都農神社

葦原醜男命

大隅國

杵原郡

鹿兒島神社

正八幡太神

薩摩國

頰娃郡

牧聞大明神

猿田彦命

壹岐國

石田郡

天手長雄神社

櫛明玉命

對馬國

上縣郡

和多津美神社

豊玉彦命

島

二

總而大日本六拾餘州仁鎮座乃

神靈都合三千一百三十二神中

仁毛一國尔總社而主宰坐須神

霸六拾餘州仁尊號乎顯之奉互

此處辺勸請之奉雷當仁降臨有

互神慮乎祈處奈利願處諸願圓

滿感應成就守幸賜辺止恐美恐

美申壽

④ 日本二十二社神號御祭日

伊勢内外 天照太神 国常立尊 十六日

加茂下上 神武天皇 瓊々杵尊 十七日

石清水八幡 應神天皇 十五日

松尾大明神 大山咋神 酉日

稻荷大明神 稻倉魂神 九日

春日四社 武甕槌神 経津主神 子日

平野四社 仁德天皇 日本武尊 申日

仲哀天皇 天穗日命

天兒屋根命 毘賣大神

大原野神社 春日同躰

拜日

大神 三輪大明神也 大己貴命

拜日

石上 布留大明神 布留御魂

十五日

大和 三輪同 大国魂神

朔日

廣瀬神社 稚宇賀能賣神

四日

龍田 級長津彦神 級長戸邊神

四日

住吉四社 表筒男命 中筒男命 底筒男命 神功皇后

卅日

日吉山王宮 猿田彦太神

申日

梅宮ひめのみや 酒解神さうとけ 酒解子神さうとけこ 酉日

吉田神社よした 春日同躰 子申日

廣田社ひろた 天照太神あまてらすおほいづみ 十四日

祇園社ぎおん 素盞鳴尊すさのおと 廿日

北野きたの 天満天神てんま 廿五日

丹生にぶ 大明神 罔象女命あらいまのめ 卅日

貴船きふね 大明神 罔象女命あらいまのめ 朔五日

惣而そうじゆ 二十二社勸請志奉留かんとんしほうりゆう 今當いままさ

示降臨有互祈所願所祈願圓滿
感應成就守幸賜辺止恐礼美恐
美申須

皆行圓滿 神力加持

④ 十種太袂

高天原仁神留座須皇神等鑄顯
給布十種瑞津乃神宝乎以互天
照國照彦天火明櫛玉鏡速日尊

仁授給事誨天曰汝比瑞津宝乎

以中津國仁天降利蒼生乎鎮納

与蒼生及萬物乃病疾辞阿羅波

神宝乎以御倉板仁鎮置天魂魄

鎮祭乎为天瑞津宝布雷部其乃

神祝乃詞仁曰甲乙丙丁戊己庚

辛壬癸一二三四五六七八九十

瓊音布雷部由良由良如此祈所

為波死共更仁蕪生奈牟止誨賜

布天御祖神乃御詔乎亶玉天天

磐船仁乘利天河内國河上乃哮

峯仁天降座天大和國排尾乃山

乃麓白庭乃高庭尔遷座天鎮齊

奉利給號天石上大神止申奉利

代々神宝乎以互萬物乃為仁布

雷部乃神辞乎以司止為賜布故

布ふる留部御魂神止とど尊敬奉皇子大おほ

連むす大臣其神武乎以互齊仕奉玉たま

布物部乃神社天下萬物聚類化あは

出大元乃神宝者所謂瀛都鏡邊へ

都鏡八握劔生玉死反玉足玉道みち

反玉蛇比禮蜂比禮品品物比禮れい

更十種神宝甲乙丙丁戊己庚辛しん

壬癸一二三四五六七八九十瓊たま

音布留部由良止由良嘉志奉留
事乃由縁乎以天平介久所聞食
止命長遠子孫繁榮常磐堅磐仁
護給比幸玉止加持奉神通神妙

神力揖

竈祭三柱被

高天原仁神留座須皇親神漏岐
神漏美命乎以天澳津茂神澳津

姫神竈始賜朝乃御食夕乃御食

郷良奉時火乃神乎以金乃神仁互

鍋釜乎鑄世給比土乃神乎以竈

乎築幾木乃神乎以火乃神乃德

乎成水乃神仁互田畑海川山乃

種々乃物乎煮炊備奉礼波皇御

孫尊其種種乃物乃味乃樂志伎

事誠仁木火土金水五柱神乃大

恩德乃成給布所奈利故仁此五

柱太神乎以天寵乃神止崇祭奉

雷澳津彦命澳津姬命寵仁互萬

物乎煮炊久事乃始乃神奈礼波

此二柱神止木神火神金神水神

四柱乃神乎則土乃神江組約女

賜比土神一神止成奉利寵三柱

乃太神止祭祝奉礼波寵繁榮家

内和順火難消除左男鹿乃八乃
耳乎振立天所聞食止申須

⑨ 飯成五社大明神祓

高天原仁神留座須皇親神漏岐

神漏册乃命乎以豊葦原乃瑞穂

乃國五穀乃種津物乃神靈飯成

五社大明神江鎮座須稻蒼魂命

大己貴命太田命大宮姬命保食

命ミコト五いつ柱しら乃の大おほ恩おん神かみ天あめ与よ利り五いつ穀こく乃の

元もと祖おや止と志し天て普あま久ひ種と乎と降くだ志し千ち代よ

萬よろ代み麻ま天て秋あき乃の垂たれ穗や八や握つ仁み莫あま々ひ

上うへ者は帝みかど乎と奉ほう始はじめ顯あらわ生ま蒼あお生ま乎と養やしな志し

心こころ乃の儘まま仁に潔いさ久ひさ生ま乃の子こ乃の八や十と續つ

麻あし豆まめ生ま成な給たま布ふ止と被ひ申まを奉ほう敬かしこ礼ま波なみ

立た春はる乃の秋あき風かぜ通と氣き自よ在づ乃の德い者さ明あ

安やす正せい家け乃の住す耳みみ能よ風かぜ秋あき乃の神かみ道みち仁に

奉出光皆稻里五社大明神乃德
奈利止恐美恐美申世波十穀乃
種津物五穀成就不致止云事奈
志祈處願處守幸玉比無上靈宝

神道加持

天津祖猿田彦太神

庚申止和怒尾去雷乎云高神待
和遍久天平祭流事曾天和則智

父母ふが 奈礼なれ 波な 是乎これと 祭まつ 留乎ると 孝かう 心しん 止と

云然よみ 利福あがり 禄り 寛樂くわんらく 尔住よ 天てん 道祖どうそ 神じん

乃の 惠めぐみ 尔ゆる 叶布あふ

③ 道祖どうそ 猿田彦さるどひこ 太神たいじん 被まひ

謹請きんせう 再拜さいはい 再拜さいはい 挂卷かけまき 毛も 畏喜うらやま 天てん 地ち

開闢ひら 道祖みちのそ 太神たいじん 猿田彦さるどひこ 命いのち 乃字このまこと 豆まめ

乃の 廣前ひろまへ 尔お 恐美おそ 恐美おそ 毛も 申高まうたか 天原あまがはら

仁に 神留座かみどまりざ 須皇親すめみま 神漏岐かみろぎ 神漏美かみろみ

乃尊乎以互天乃高市尔八百万
乃神等乎神集尔集给比神议尔
议给比互吾皇孙乃尊乎以互豊
葦原乃水穗乃国乎安国止平介

久所知食止天乃磐座押放天乃
八重雲乎伊豆乃道别尔道别互
天降依之奉志时天乃八衢乃衢
仁立迎座须神鼻乃长佐七尺背

乃	田	乃	夕	御	止	里	乃
神	五	嶽	日	孫	赤	眼	長
乃	十	尔	照	乎	酸	波	佐
道	鈴	导	須	奉	醜	八	七
乎	乃	给	日	迎	尔	咫	寻
慎	川	比	向	天	似	乃	余
美	上	遂	乃	相	多	鏡	亦
敬	尔	尔	高	待	利	乃	口
比	镇	伊	千	朝	天	如	隱
给	利	势	穗	日	乃	久	礼
布	定	乃	乃	乃	神	光	明
天	利	狭	櫛	來	乃	耀	利
下	日	長	觸	向	皇	古	照

乃地君成加故尔國底立神止名
乃里給布不視不聽不言混沌乃
始乎守里時尔隨比出座互氣乃
神止號給比根乃國底乃國与里

荒比踈比來者乎降伏守互怒猛
神止名乃里給比生雷物乃為尔
波身命福德乎授互太田神止號
給布能神靈乎返互興玉乃神止

號給布是皆自然乃御名仁志互
物皆證顯阿里止奉称辞竟宇豆
乃幣帛乎朝日乃豊榮登尔捧持
奉称辞竟平介久安介久知聞食

止天乃八平手乎打天奉雷皇御
孫乃尊乎導守里給比互天加下
四方乃國安久穩耳某加家乃内
与里起雷騷擾奈久外与里來雷

災わざ奈な久く夜よる乃の守まも晝ひる乃の守まも神かみ直ただ日ひ大おほ

直ただ日ひ五い十す鈴ず乃の道みち尔よ導みちび壽くわん惠ごん美めい幸さい

給たま辺へ止と祈いの禱り申まを事し乎と平へい介け久く安あ介け

久く駒こま牽ひ立た天てん所こ聞こ食め止と慎しん美めい慎しん美めい

恐おそれ美め恐おそれ美め毛も申まを須す

⊕地く津つ主ぬし大おほ己おのれ貴たか神かみ

甲か子こ止と者もの氣き之の榮さか類るい根ね乎と云い根ね待まち

者もの普あま久く地ち乎と祭まつ事こと曾ぞ地ち者もの則すなは妻ま奈な

礼波是乎祭流乎寢交血止云然
利心善子孫乎授老互大國神之
德尔叶布

⑤ 甲子祝文

謹美謹美惶美惶美申須古辺此
國荒芒乃世磐根木乃立草乃片
葉毛能強暴乃時天下乎經修治
給波國作大已貴神止申須武久

強伎勢比在波蘆原乃醜男止申

志天乃廣戈乎振天邪鬼乎撥平

語問志木草乃類遠摧伏給波八

十戈乃神止申志諸乃不和順神

等遠和順國乎持給辺波大國主

神止申須此神乃住世給辺流宮

波千尋乃拷繩乎以天結天百余

八十結比木柱者高久太久板和

廣久厚久高橋浮橋打橋鳥船百
余里八十縫乃白楯有又祭祝乃
主佐諸乃司仁而備礼波大物主
神止申須神光海原乎照志幸魂

奇魂乎三諸山尔鎮女給辺波大
國王乃神止申志治世顯露乃事
乎皇孫尊仁依之奉利神事乎治
女給布御身仁瑞乃八坂瓊乎被

寂然長隱給辺波顯國王神止申

須顯見蒼生及畜乃為尔其病止

療雷方乎定女鳥獸昆虫乃災乎

拂车為尔其禁厭雷法乎定女給

布是以百姓今尔至麻天皆恩頼

乎蒙礼利止称辞竟奉利宇豆乃

廣前尔宇豆乃御膳宇豆乃御酒

宇豆乃御幣乎朝日乃豊榮登尔

捧毛奉留平介久聞食止申須宝

祚天壤止究利無久百姓安穩加

仁某姓名等家乃内諸乃災難名

久萬乃幸比給辺止夜流乃守利

日留乃守利愚奈留波猶毛惠美

幸比給辺止謹美謹美惶美惶美

申事乃洩落牟事神直日大直日

仁見直志平介久安介久尤男鹿

乃耳乎振立天聞志食止申須

⑤ 人津靈少彦名神

己已止波慎乎本止須流身乎云

身待者普久人乎祭事曾人者則

萬物之長奈礼波是乎祭雷乎實

真道止云然利運命良長止志互

藥力粟嶋之神慮尔叶布

⑥ 已得乃袂

謹請再拜再拜掛間久毛尊少彦

名命乃宇津乃廣前尔恐美恐美

申須

抑已待之神止奉申者高皇產靈

之尊乃御子尔而一千五百柱乃

末男子少彦名命也御長小作御

座而粟乎御舩登志互紀州名草

郡尔著玉布依之粟島大明神止

祭奉時于大國神大已貴命止力
乎合世御心一津尔而天下乃蒼
生人乃病乎療治給波牟止醫術
乃道乎始給布元祖也其已壽永
安羅加尔而孫乃孫八十續迄不
絶事乎守玉布神也殊尔父波天
而母波地也氣脉氏乎波父神与
利請骨肉乎波母神与利受久故

尔み土つら野の止と乃の身み止と波なみ申まを奉まを也まを今いま尔まを
至いた迄まで萬ばん民まん已おのれ加か已こ乃の病やまひ乎こ此この神かみ也まを
祈いの身み健けん福ふく乎こ奉まを待まち故ゆゑ身み待まち之の神かみ止と
波なみ申まを壽しゆ那な利り神かみ力ちから神かみ妙たみ之の大おほ那な雷かみ

功い德とく乎こ厚あつ久く敬やまひ比ひ深ふか信まを互たがひ病びやう難なん奇き
難なん乎こ被おほ除とほ互たがひ子こ孫そん長なが常とこ盤ばん堅かた盤ばん尔まを
守まも護ご福ふく給たま也まを止と謹つと美み謹つと美み恐おそ美み恐おそ
美み申まを須す

⑧ 厄神祓

恐禮美畏美毛申互申佐久高天

乃原仁神雷坐互事始給志神漏

岐神漏美乃命乎以八百萬乃神

達乎神集集給比神議給互荒振

神等乎神攘尔攘給比神和尔和

美給國乃内尔坐崇神疫神時行

神等波荒比健比給布事無志互

高天原尔始给比志事乎神乍毛
所知食豆和麻利镇利在坐止广
前尔宇豆乃御食宇豆乃御酒杂
杂乃多女都物献留此状乎平介

久安介久闻食给比豆大元乃神
灵尔归理混沌乃始乎守理给豆
厄乃灾乎攘给退给豆守给比幸
给边止恐礼美畏美毛申给波久

止申壽

船玉被

ふまごまのそり

前尔申互申佐久倩慮美礼波大
恐禮美畏美毛船玉大御神乃廣

御神者靈異尔奇幾御稜威坐互

顯見蒼生乃幸乎守利給比助介

給布神尔奈毛坐介畱山行波山

路乎開給比陸行者陸道乎導給

比河川爾波橋乎渡志互行渡事
乎令知給比橋毛及波怒大海原
尔波船乎造利互千里乃浦尔行
通事乎教边給布故仁山口尔波

手向乃神止崇祭理阡陌尔波道
陸神止奉齊海上尔互波船玉乃
神止奉仰祭甚毛畏幾底意知禮
怒海原乎自由自在仁往來波大

御神乃恩頼仁社止今大廣前尔
 珍乃御食珍乃御酒雜雜乃物捧
 彌辞竟奉雷此状乎聞食相宇豆
 乃比給比互風波乃災奈久心乃
 俣尔平加尔安加尔令通行惠幸
 給辺守給辺止恐禮美畏美毛申
 壽

祖廟靈鎮被

大元尊神生命成就心者則一元

未生之神明也元元而入元元本

本而依本心登天報命住日少宮

生れ未ぬ先も生れく住まふまも
はくはも神乃ふくおろれち

遥拜祝祠

恐禮美畏美毛申互申佐久不思

意今日大御神乃大廣前乎通行

奉礼波甚畏久毛叩頭奉拜禮奉

此狀平平介久安介久聞食給
止白壽

名諸人神社の名若杯と函形をるふ御社願
遠くれば居るがく遠杯を居れ文がり
◎潔齋祝祠

恐禮美畏美毛申今日乃生日乃
足日以内外乎被清佳連引延互
物忌志被玉比清玉辺止申壽

右の儀は小目待月待庚申はかど勅子時
丁卯は七尺三杯引てつるは兒唱する文がり

⑤ 鎮火被

高天原仁神雷坐須皇親神漏岐
神漏美乃命乎以氏皇御孫命乎
波豐葦原乃水穗乃國乎安國止

平介久所知食止天下所寄奉志
時仁事寄奉志天津祝祠乃太祝
祠乃事乎以互申佐久神伊佐奈
伎伊佐奈美乃命妹背二柱乃神

嫁と繼つぎ給たまひ氏ひて國くま乃の八や十そ國くま嶋しま乃の八や十そ
 嶋しま乎と生う給たまひ比ひ八や百ひゃく萬まん神かみ等ら乎と生う給たまひ
 比ひ氏て麻ま奈な第と子こ尔と火ひ結むす乃の神かみ乎と生う
 給たまひ比ひ氏て美み保や止ど被や燒う石い隱は坐ま氏て
 夜よ七あ日ひ晝あ七ひ日あ吾あ乎と奈な見み給たまひ比ひ曾ぞ
 吾あ奈な妹せ乃の命こと止と申ま志し給たまひ比ひ伎こ此の七あ
 日ひ尔よ波は不と足ら互た隱ひ坐ま事こと奇あ止と氏て見み
 所ところ行あ須す時とき尔よ火ひ乎と生う給たまひ氏て御ご保や止と

乎と所や燒うえ坐ま伎さ如か是か時と仁に吾わ名な妹せ乃の
命まこと乃の吾わ乎と見ま給たま布ふ奈な止と申ま乎と吾わ乎と
見ま阿あ波は多た志し給たま比ひ津つ止と申ま給たま氏し吾わ
名な妹せ乃の命まこと波は上う津つ國く乎と所し知ら食め倍ばい
志し吾わ波は下した津つ國く乎と所し知ら食め卒そつ止と申ま
氏し石い隱いん礼れ給たま比ひ氏し與よ美み津つ枚へ坂さ余よ
至いた坐ま互たが所か思が食さ久く吾わ名な妹せ乃の命まこと乃の
所し知ら食め須す上う津つ國く仁に心こころ惡わる子こ乎と生な

置おき氏し來き奴ぬ止と宣のり氏し返かへ坐ま氏し更さら仁に生ま

子こ水みづ神かみ匏ひょう川がは菜な埴は山やま姬ひめ四よ種しゅ乃の物もの

乎と生う給たま比ひ氏し此こ乃の心こころ惡わる子こ乃の心こころ荒あ

比ひ曾そ波は水みづ神かみ匏ひょう埴は山やま姬ひめ川がは菜な乎と持もち

氏し鎮しづめ奉まう禮れい止と事こと教しよ悟ご給たま比ひ伎ぎ依よ之し

氏し雜くさ雜くさ乃の物もの乎と備そま氏し天あま津つ祝のり祠と乃の

太み祝のり祠と乃の事こと乎と以も氏し彌よ辭ひ竟ま奉まう久ちう

止と申まう壽む

これより火災の祝詞を
た免よ事ふはくし
火災とすぬがとん
祝詞あり

天保十五 甲辰年正月



皇都經師 橋本芳風堂版

